

皆さま、こんにちは。  
 アールラーニングの吉政と申します。  
 本年最初のメールマガジンは大幅リニューアル号としてRuby on Railsの情報を  
 中心にお届けします。

弊社は昨年末に@IT様と共同でRails技術者認定試験運営委員会を発足させ、  
 Rails技術者認定試験を5月より開始するべく、準備をしています。

※Rails技術者認定試験  
 ⇒<http://www.atmarkit.co.jp/fcoding/rails/index/examination.html>

今号では、Rails技術者認定ベータ試験の結果報告と、@IT内のRails専門  
 技術ポータル「RailsHub」の更新情報、そして弊社取締役 金子のメディアプロ  
 グデビューについてお届けします。

今号も宜しくお願いいたします！

/// INDEX //////////////////////////////////////

[News & Topics]

- ・アイティメディア・オルタナティブブログに弊社取締役の金子がデビューしました。

「People behind Web」  
 ～WEBを介した人のつながり方、コミュニケーションを考察するブログ～

[Rails Hubホットトピック]

- ・【連載】 Railsで目指せ、情熱エンジニア 第3回 DojoとKataでRubyを学ぼう
- ・【ブログ】 Rails Hub情報局 新着エントリー

[コラム]

第六回： Rails技術者認定ブロンズ・ベータ試験の結果報告

//// News & Topics //////////////////////////////////////

- ◆ アイティメディア・オルタナティブブログに弊社CTOの金子がデビューしました。

「People behind Web」 ⇒ <http://blogs.itmedia.co.jp/kaneko/>  
 ～WEBを介した人のつながり方、コミュニケーションを考察するブログ～

\*\*\*\*\*

[新着記事]

- ・ソーシャルメディアへの関心は信用への再帰
- ・ソーシャルニュースリーダーSummifyが示す可能性
- ・WEBの未来を妄想してワクワクしたい

上記新着記事の中から特に人気が高い「WEBの未来を妄想してワクワクしたい」  
 を部分的にご紹介します。

\* \* \* \*

ブログタイトルの『People behind Web』ですが直訳すると『WEBの後ろの人々』  
 になるのですがその字の通り、WEB周りの出来事等について綴っていこうと思っ  
 ているのですが特にその目に見えるWEBブラウザの向こう側に『人』がいるとい  
 う事実を忘れずにしたいという所信表明だったりします。

そこを意識するバックグラウンドと言えはいいのかわかりませんがこれまでWEB  
 にユーザとして、作る側、提供する側としてプログラマー、SE、プロジェクトマ  
 ページ(1)

ネージャー、事業責任者と色々な関わり方をしてきたのですが、そのなかで痛感していることがあります。・・・ありきたりな言い回しなのですが、WEBに限らずですがシステムありきで人がいるのではなく『人』ありきでWEBが存在するんだということです。

伝聞や噂ベースだったりするのはするのですが決して安くはない額を投資して作られたシステムが全く使われていないとか、逆に新しいシステムを導入したはいいいけれども現場サイドでは以前より効率が悪くなったのに諸事情により使い続けなければならない等の話はIT業界に携わる方であれば聞いたことあるような方は多いのではないのでしょうか？

そういった事実があるらしいということは大学生時代にインターネット、WEBと出会いすぐに自分の生活に欠かせない存在となり情報処理系の学科に所属していたわけでもないのにWEBに携わることを生業にしようと決心した過去がある自分としては実際WEBシステムの一部なりをプログラマーとして提供する側になってからそういった話を聞いてそんなことがあり得るのかと相当な衝撃を受けたのを覚えています。

この続きは ⇒ <http://blogs.itmedia.co.jp/kaneko/2011/02/web-edd0.html>

[コメント]

力作です。ソーシャル系に興味がある方はぜひご覧ください。(吉政)

//// Rails Hubホットトピック //////////////////////////////////////

◆【連載】Railsで目指せ、情熱エンジニア 第3回 DojoとKataでRubyを学ぼう

⇒ <http://bit.ly/eVx0yU>

◆【ブログ】Rails Hub情報局 新着エントリー

- \* サービスの時代が来た！ と思ったサービス「Copycopter」
- \* Rails3認定ブロンズ、ベータ試験の合格率は12.5%
- \* Rails開発者ら、JavaScriptフレームワーク「Cinco」を発表
- \* 禅の公案(Koan)がプログラミング学習でプチブーム
- \* Rails-shでサブコマンド実行を大幅に高速化

⇒ <http://bit.ly/e3q9vy>

[コメント]

Rails Hub情報局はRails技術者認定試験運営委員会のメンバーである西村副編集長が書いているRails中心のブログです。コミュニティ系にもビジネス系にも強い方なので、Railsの情報を仕入れるブログとして必見です。(吉政)

//// コラム //////////////////////////////////////

第六回：Rails技術者認定ブロンズ・ベータ試験の結果報告

+.....+

先日開催したRails技術者認定ブロンズ・ベータ試験についてブログを書きました。12年間OSS業界に身をおき、OSS隆盛や様々なビジネスを見てきた感覚で、今回の結果にコメントをしています。詳細は以下のブログ本文をご覧ください。

<http://www.uguisu.biz/column/?p=105>

なお、「Rails技術者認定ブロンズ・ベータ試験の結果報告書」の原文をお渡しできます。ご入用の方はこのメールマガジンに返信いただき、その旨をお伝え下さい。(吉政 忠志)

編 | 集 | 後 | 記 |

RoRの仕事をしてしていると、いろいろな意見の方に会います。「Railsってどうですか？」といった声も聞こえます。一方で、忙しい方は死ぬほど忙しい状況が続いており、弊社も完全に技術者がフル稼働状態です。「できるところに仕事が集まる」の法則です。こういう時がマーケティングで言えば、まさにハイプカーブの谷間を抜けようとしている感じなのだと思います。ハイプカーブとは、一旦盛り上がって、がっかりして、再度盛り上がる時に本格普及するような様を表した曲線です。今年はいろいろ騒がしくなりそうです。(吉政)

—◇読者の皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

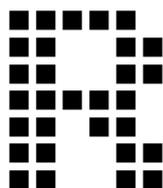
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：

- (1) メールアドレス：
- (2) 氏名：
- (3) 会社名：
- (4) 部署名：
- (5) 役職名：



アールラーニング・メールマガジン「R-Times」

発行人：株式会社アールラーニング  
取締役兼サービス戦略室長 金子 憲太郎  
編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志  
Mail : r-times@r-learning.co.jp  
(c) R-Learning Co., Ltd. All Rights Reserved.